

APS®-3H 製品(フォーム体)に関する注意事項

1. 周辺で火気を取り扱うような行為は避けてください。
2. 水分に接するような使用は避けてください。
3. 直接日光や雨が長時間当たると早く劣化しますので、そのような状況下での使用は避けてください。
4. 白アリ等の昆虫及びネズミ等の動物の栄養源や餌にはなりません。しかし、それらによって損傷を受けることがありますのでご注意ください。
5. 使用可能温度は使用される細かな条件に左右されますので、常温以外での使用については、別途ご相談ください。
6. 工事現場で発生する端材は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき許可を受けた業者で適切な処分を行ってください。
7. 原料の安全衛生管理(取扱い注意事項、貯蔵上の注意事項)、吹付け施工における注意事項等については、SDS、技術資料、取扱説明書、施工要領書、施工マニュアルをご確認ください。
8. 本カタログに掲載の商品(原液、フォーム体)は、設計、施工に関する専門の知識、技術が必要であり、所定の教育を受けた技術者、技能者による設計、施工を原則としております。ご使用にあたっては、これら専門業者の方にご依頼願います。
9. 商品改良や法改正等の理由で、仕様やフォーム体の外観等は予告なく変更することがあります。ご使用の際には最新の情報を確認してください。

APS®-3H

一般建築物結露防止・断熱用



免責事項

- 本カタログに記載した注意事項が行われず発生した不具合
- 原料の安全衛生管理、吹付け施工における注意事項が行われず発生した不具合
- 建物・躯体の構造、下地の変形、老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- 使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- 引き渡し後、構造・性能・使用等の改変を行い、これに起因する不具合
- 不具合を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- 地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因により発生した不具合

 **ASAHI YUKIZAI** 旭有機材株式会社

■ お問い合わせは —

樹脂事業部 発泡材料営業部

【東日本営業グループ】
〒105-6120 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル20階
TEL:03-3578-6021 FAX:03-3578-6026

【西日本営業グループ】
〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町4丁目5番9号 井門瓦町ビル7階
TEL:06-4707-0365 FAX:06-4707-0366

本書に記載されている情報は正確で信頼性のあるものと確信していますが、明示的または黙示的にかかわらず、いかなる保証または責任も伴いません。当社製品の使用方法に関する記述または提案は、その使用方法に特許権の侵害がなく、いかなる特許権の侵害も推すものではないことの表明または保証も伴うものではありません。ユーザは、安全性に関するすべての手段が本書内に示されている、または他の手段は必要ないと仮定するべきではありません。情報の使用および得られた結果に関する責任はユーザが負うものとします。

2016.06.3000

結露防止・断熱効果に優れた
現場発泡吹付け硬質ウレタンフォーム

旭有機材株式会社

APS®-3Hは優れた断熱性能により、 結露防止はもちろん、一般建築においても優れた効果を発揮します。

APS®-3Hの特長

①オゾン層破壊係数0の発泡剤HFC(代替フロン)を使用。

APS®-3Hはオゾン層を破壊しない代替フロン(HFC-245fa、HFC-365mfc)を発泡剤として使用しています。



施工風景1

②シックハウス法告示対象外。

APS®-3Hは平成14年国土交通省告示第1113号～1115号に規定されるホルムアルデヒド発散建築材料の告示規制対象外となっておりますので、使用面積の制限を受ける事なく使用できます。

③断熱効果に優れています。

APS®-3Hのフォーム体は、独立した気泡によって構成されており、優れた断熱性能を有します。



施工風景2

④継ぎ目がなく安定した断熱効果が得られます。

APS®-3Hはスプレー工法によって施工されます。シームレスな断熱層の実現で、目地による熱ロス、結露等を防ぎます。

⑤工期の短縮、断熱工事コストの低減を実現。

スプレー工法による断熱工事は、工期の短縮化や人件費の削減・コストの低減に貢献します。

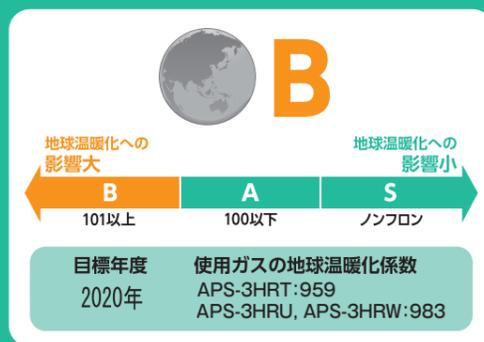
APS®-3Hシリーズにおけるフロン情報	
目標年度	2020年
使用フロン	HFC-245fa, HFC-365mfc
銘柄およびGWP値*	APS-3HRT:959
	APS-3HRU:983
	APS-3HRW:983
目標値	100
用途	住宅建築材料用
フロン使用量	25%以下

※ GWP(地球温暖化指数)とは……
二酸化炭素を基準として、その他の温室効果ガスの強さを比較したものです。

APS®-3Hは上記の通り代替フロンが製品中に含まれます。
弊社ではノンフロン製品も取り扱っておりますので、必要に応じてお気軽にお問い合わせください。

フロンラベル

この商品で使用しているガスの
地球温暖化への影響は？



APS®-3Hのフォーム物性

評価項目	物性値	備考	
発泡剤	—	HFC(代替フロン)	
コア密度	kg/m ³	35	
圧縮強さ	kPa	200	
接着強さ	kPa	200	
熱伝導率*	W/(m·K)	0.022	
透湿率	ng/(m·s·Pa)	2.0	
燃焼性	—	合格	燃焼時間120秒以内 燃焼長さ60mm以下であること
防火性能	—	難燃3級相当	JIS A 1321
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記の値は、測定値であり保証値ではありません。 ● 防火性能はJIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性の試験方法」に基づいた試験結果です。 ※ ウレタンフォーム工業会ではHFCを発泡剤とする吹付け硬質ウレタンフォームの熱伝導率の設計値として0.026W/(m·K)を推奨しています。 		

H25年仕様基準(断熱等性能等級4)における必要厚み

種類	部位	地域区分				
		1,2	3	4,5,6,7	8	
RC造の住宅	屋根又は天井	95	75	65	45	
	壁	外気に接する部分	60	50	30	—
		その他の部分	60	50	40	—
	床	外気に接する部分	45	40	25	—
		その他の部分	15	15	10	—
	土間床等の外周部	—	—	—	—	

H25年仕様基準を適用するためには、下記の開口部比率の条件を満たす必要があります。

	1~3地域	4~8地域
共同住宅等	0.09未満	0.08未満

開口部比率 = $\frac{\text{開口部の面積}}{\text{外皮等総面積}}$

地域区分は下記の表のとおりです。地域区分は以下の市町村単位での区分となり、下記区分と異なる場合があります。

H25年基準における地域区分	主な該当都道府県
1,2	北海道
3	青森県、岩手県、秋田県
4	宮城県、山形県、福島県、栃木県、新潟県、長野県
5	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
6	
7	宮崎県、鹿児島県
8	沖縄県